



令和7年度 学校経営方針

江戸川区立東葛西小学校
校長 武内 広明

1【 目指す学校像 】

- 子供の笑顔が輝きあふれる、楽しい学校
- 教職員が教えることの喜びに満ちた学校
- 保護者、地域から信頼され愛される学校

2【 学校の教育目標 】

- やさしい子 （ 思いやりの心を大切に生活する子を育てる ）
- やりぬく子 （ 責任をもって最後まで取り組む子を育てる ）
- げんきな子 （ 健康安全に努め明るく行動する子を育てる ）

3【 目標を達成するための基本方針 】

（1）確かな学力の育成

学校は子供が学ぶ場所であり、教職員が教え導き、学力を付ける場である。基礎学力をしっかりと身に付けさせるため、教育のプロとしてどの子にも十分にわかる授業を行う力量を備え、学ぶ楽しさ、伝え合う喜びを味わわせ、充実した授業を行う。

（2）豊かな人間性の育成

他者への思いやりと人との豊かなかかわり、協調性をはぐくむ心の教育の充実、集団における望ましい人間形成は、学力と相まって大切である。全ての子供が安心して過ごすことができる、心のよりどころとなる学級・学年・学校をつくる。

（3）健やかな身体の育成

体育の授業の充実に加え、なわとび、鉄棒、持久走など季節に応じた体育的活動の日常化を図り、子供に運動の楽しさを味わわせ、自らすすんで運動に取り組めるようにする。また、生活リズムの定着と食育指導の充実を通して心と体の健康づくりを行う。

（4）特別支援教育の推進

特別支援教室の開設に伴い、子供一人一人の教育ニーズに対応した適切な教育的支援を行う。また、支援を要する子供については組織的に対応し、実態に応じた指導内容や指導方法を工夫した特別支援教育を推進する。

4【学校経営の重点】・・・『子供の笑顔が輝くために！』

(1) 子供を深く理解し、励ましの中で自己肯定感を高める。(児童理解力)

※ 子供の側に立った教育を推進するには、まず、その子を知ることが大切である。

- 子供の声に耳を傾ける。些細な一言の中に子供の願いや SOS が込められている。
- 一人一人の子供への「声かけ」「ふれあい」を大切にする。一日一回以上のふれあい。
- 子供に関わる諸問題を未然に防ぎ、早期に解決するために、子供に関わる情報交換を重視し、「児童理解」「指導方針の共通理解・実践」に努める。
- 保護者は子供を通して教師との信頼関係を築く。指導すべきことは指導し、子供の成長を家庭に知らせ、協力を仰ぐべきことは明確に伝えていく。それが信頼の第一歩である。

(2) 子供が分かる・できる・学ぶ喜びを味わえる授業をする。(学習指導力)

※ 授業が分からなければ、子供たちにとって学校は楽しいところではなくなる。

- どの子にも授業の中で「できた喜び」「学ぶ喜び」を体験させるには、子供たちの実態に合った指導計画を作成することが必要である。
- 週案により、子供たちの理解度により進度を調節し、行動や問題点を記録しておく。
- 分かる授業、楽しい授業を行うための工夫をする。(教材教具、指導形態、ICT 機器等)

(3) 子供が安心・安全に過ごせる学級経営・学年経営をする。(生活指導力)

※ 学校生活を楽しく送るためには、子供たちが健康で安全でなければならない。

- 人間関係づくりの基本となる「あいさつ・返事・正しい言葉づかい」の徹底を図る。
- 思いやりの心を育み、いじめ、不登校の未然防止と迅速・適切な対応の徹底を図る。
- 子供の欠点ばかりを指摘するのではなく、良い点を認め、励ます中で子供を育てる。
- 東葛西小学校の子供たちの実態に合った生活指導の手立てを確立し、共通実践を行う。

5【学校経営上の配慮事項】

「 児童にとっての最大の教育環境は、教師自身である！ 」

※ 信頼を失うのは、たった一回の失敗で一瞬のうちであることを肝に銘じる。

- ・ 教育公務員としての自覚をもち、信頼ある行動を心掛け、サービスの厳正を図る。
- ・ 子供を力で押さえつけようとする「体罰」は教師としての敗北であり犯罪である。
- ・ 出勤・退勤時刻、休暇連絡、長期休業日の勤務等、法令、規則を遵守する。
- ・ 教職員にふさわしい服装、振る舞い、言葉づかいに努める。
- ・ 個人情報の取り扱いについては校内内規及び江戸川区の規則に従って確実に行う。
- ・ 子供の事故や事件については、すぐに校長・副校長に報告・連絡・相談し、必ず記録をとっておく。また、保護者への対応は、迅速・慎重・誠実に行う。